1

〈1〉の文章を完成させ、全体を書きなさい。観点（A・B）を考えて〈2〉の空欄にメモし、それを使って書くこと。

〈1〉
懐中電灯を使うと、［A］。
一方、ろうそくを使うと、［B］。

〈2〉
A……（　　）
B……（　　）

●ポイント●

懐中電灯を使うと、／［A］。
［ア］は
一方、ろうそくを使うと、／［B］。
［イ］は

●「A・B」のパーツを書くうちに、「1・2」のパーツ（理由）を入れたくなってしまうことがありますが、あえてそれを入れず、シンプルな文を作るようにします。まだまだ練習段階ですから、欲張らないことが大切です。
●「観点の統一」に注意しましょう（6ページ参照）。

基本の型

［ア］は、［1］（な）ため、［A］である。
しかし、［イ］は、［2］（な）ため、［B］である。
だから、［ア］よりも［イ］のほうが［C］であると言える。

1 月 日
評価 A B C
解説は134ページ

2 月 日
評価 A B C
解説は134ページ

2

〈1〉の文章を完成させ、全体を書きなさい。観点（A・B）を考えて〈2〉の空欄にメモし、それを使って書くこと。

〈1〉
小説は、言葉だけで伝えるため、［A］。
それに対して、マンガは、絵と言葉で伝えるため、［B］。

〈2〉
A……（　　）
B……（　　）

●ポイント●

小説は、／言葉だけで伝えるため、／［A］。
［ア］は　［1］なため
それに対して、マンガは、／絵と言葉で伝えるため、／［B］。
［イ］は　［2］なため

●読み手の目線で考えるか、書き手の目線で考えるかを、まず決めましょう。
●小説をプラス、マンガをマイナスととらえるのか、逆に、小説をマイナス、マンガをプラスととらえるのかで、内容も変わってきます。
●読点「、」は、あまり続くと読みづらくなるので、状況によって外します。たとえば、「マンガは」のあとの読点は、なくてもかまいません。